



感染症週報



(三宅管内感染症発生動向調査報告)

令和6(2024)年 第50週 (12/9~12/15)

三宅島 新型コロナウイルス感染症(COVID-19) : 7 件

御蔵島 感染症の報告はありません。

(三宅管内感染症発生動向調査より集計)

東京都の注目される定点把握対象疾患

《東京都感染症週報R6年第49週》

- ・インフルエンザの定点当たり報告数は、8.19で前週(4.32)より大幅に増加しています。
- ・手足口病の定点当たり報告数は、1.72で前週(2.66)より減少、警報レベルが続いています。
- ・伝染性紅斑の定点当たり報告数は、3.00で前週(3.02)から横ばい、警報レベルが続いています。

島しょの情報(11島の医療機関からの報告)

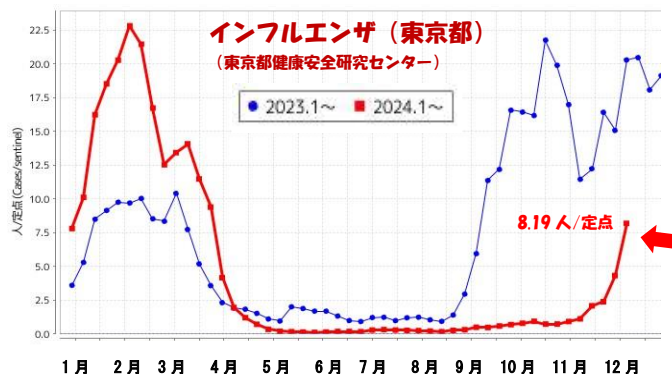
《第50週(12/9~12/15)》

- ・新型コロナウイルス感染症の医療機関あたりの報告数は、0.73で前週(0.09)より増加しています。
 - ・インフルエンザの医療機関あたりの報告数は、3.73で前週(0.82)より増加しています。
- 油断せず状況に応じて、部屋の換気・咳エチケット・手洗いの基本的な感染対策を続けてください。

NEWS

東京都のインフルエンザ情報(12/2~12/8について)

- 東京都のインフルエンザ感染状況は、2週間ほど急激な増加傾向が続いています。インフルエンザ定点医療機関からの患者報告数は3,425人、定点あたり8.19人(前週:4.32人/定点)でした。都内31保健所管内のうち、島しょを除く30保健所管内で、定点当たりの患者報告数が1.00人を上回っています。また、荒川区(17.43人/定点)、中野区(12.80人/定点)、池袋(10.75人/定点)、多摩府中(10.61人/定点)、練馬区(10.50人/定点)の5保健所管内では、注意報発出の基準となる10.00人を上回っています、感染者が多く報告されている保健所管内になります。
- 東京都と隣接する4県の定点当たりの患者報告数は、千葉県13.23人、埼玉県9.74人、神奈川県9.69人、山梨県5.66人で、山梨県以外は東京都より感染者の報告数が多くなっています。
- いったん流行がはじまると、短期間に多くの人に感染がひろがります。予防策を参照し今後の動向に柔軟に対応してください。



インフルエンザ情報
(東京都健康安全研究センター)



インフルエンザ予防策



手洗い

マスク着用

換気

手洗い等の手指衛生
状況に応じマスク着用
定期的な部屋の換気



インフルエンザについて
(東京都保健医療局)

《編集・発行》 東京都島しょ保健所 三宅出張所
電話 04994-2-0181 FAX04994-2-1009

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/miyake/>

島しょ保健所三宅出張所管内 感染症発生動向調査

三宅出張所管内 定点把握対象疾患報告数

令和6(2024)年第50週

令和6年12月9日～ 令和6年12月15日

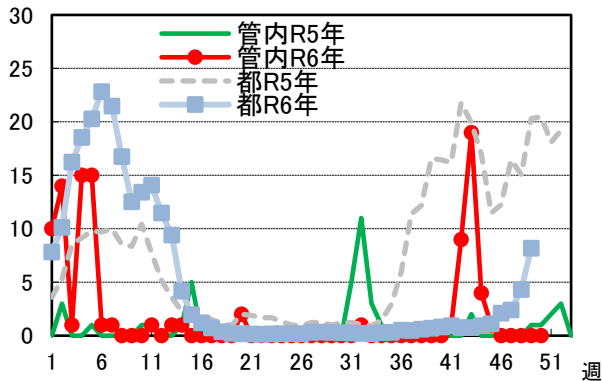
疾病名 (小児科定点及びインフルエンザ/ COVID-19定点)	令和6(2024)年				令和6(2024) 年累計	東京都 定点あたり 49週
	47週	48週	49週	50週		
RSウイルス感染症					0 (0)	0.25
咽頭結膜熱					0 (0)	0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎					5 (0)	2.88
感染性胃腸炎					15 (1)	5.20
水痘					0 (0)	0.36
手足口病					2 (0)	1.72
伝染性紅斑					0 (0)	3.00
突発性発しん					0 (0)	0.25
ヘルパンギーナ					0 (0)	0.02
流行性耳下腺炎					0 (0)	0.05
MCLS(川崎病)					0 (0)	0.02
不明発しん症					0 (0)	0.05
インフルエンザ					97 (32)	8.19
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)				7 (0)	84 (24)	1.72

※カッコ内: 御蔵島報告数の再掲

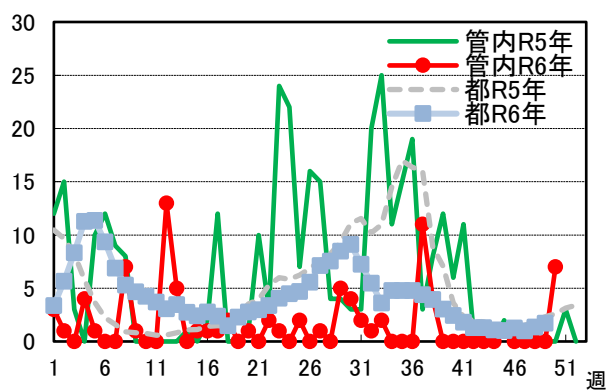
【三宅島出張所管内】患者報告数推移グラフ

管内は三宅・御蔵両島の発生数計
都は定点あたり発生数

■ インフルエンザ



■ 新型コロナウイルス感染症



※5類感染症は、感染症発生動向調査を通じ皆さまに情報提供をすることにより、
感染症の発生および、まん延・拡大を防止することが目的です。

管内の感染症状況は、5週間ぶりに新型コロナウイルス感染症の陽性者が報告されています。
今後の患者報告数を注視し、油断せず状況に応じて、
部屋の換気・咳エチケット・手洗いの基本的な感染対策を続けてください。